

百人一首の諸相及び歌仙絵

Lecture on variations of *Hyakunin Isshu*
and *Kasen-e* (the illustrations of poets and
their poems)

国文学研究資料館

National Institute of Japanese Literature

寺島 恒世

TERASHIMA Tsuneyo

日本古典籍WSホノルル2017

Workshop on Japanese old and rare books in HNL2017

2/17/2017 at Honolulu Museum of Art Lecture Hall

百人一首 *Hyakunin Isshu* とは何か

日本古典籍総合目録データベースで検索search
Union Catalogue of Early Japanese Books

検索条件: [書名(すべて): ' 百人一首 *Hyakunin Isshu* ']

該当件数: 1056件title

1相生百人一首千歳文 *Aioi Hyakunin Isshu Chitosebumi*

2相生百人一首千歳文姫鏡 *Aioi Hyakunin Isshu Chitosebumi Himekagami*

3青葉百人一首稚宝 *Aoba Hyakunin Isshu Osanadakara*

4青物狂哥百人一首 *Aomono Kyoka Hyakunin Isshu*

5吾妻百人一首 *Azuma Hyakunin Isshu*

～

1052和玉百人一首 *Wagoku Hyakunin Isshu*

1053倭玉百人一首教草 *Wagoku Hyakunin Isshu Oshiegusa*

1054倭玉百人一首信鏡 *Wagoku Hyakunin Isshu Shinkyō*

1055和順百人一首倭鑑 *Wajun Hyakunin Isshu Yamatokagami*

1056和撰百人一首 *Wasen Hyakunin Isshu*

分類

- 1 小倉百人一首 *Ogura Hyakunin Isshu* の部
節用集*Setsuyosyu*・絵本*Ehon*・写本及び諸道手本・注
釈書・通俗解説書・双六*Sugoroku*・錦絵*Nishikie*・万葉
仮名書・ローマ字書・漢訳・英訳・独訳・その他
- 2 和歌*Waka*の部
- 3 道歌*Doka*の部
- 4 狂歌*Kyoka*の部
- 5 俳句*Haiku*の部
- 6 狂句川柳*Kyoku Senryu*の部
- 7 都々逸*Dodoitsu*の部
- 8 漢詩*Kanshi*の部
(穂積重遠「百人一首物研究―蒐集目録拔萃―」『日本文学
講座』新潮社、1928年)

分類は中島悦次説、鈴木知太郎説、吉田幸一・神作光一説、
有吉保説等、諸説あり。

「百人の歌人につき、各人一首を選び、配列した秀歌撰 anthology。本来は鎌倉時代の一三世紀前半、藤原定家 HUJIWARA no Teika が宇都宮頼綱 UTSUNOMIYA Yoritsuna の依頼を受けて撰んだ、『百人秀歌 Hyakunin shuka』との関わりに種々議論のある百首を指す。ただしそれが中世の歌学で重視され、宗祇 Sogi の注釈が施されて広く流布すると、さまざまな類書 similar works が作成され、それらの総称となる。多くの類書と区別するため、定家撰の百首は『小倉百人一首 Ogura Hyakunin Isshu』と称することが慣行となる。類書は「異種百人一首 Ishu Hyakunin Isshu」と括られ、その嚆矢となるのは、文明一五1483年、足利義尚が撰んだ『新百人一首 Shin Hyakunin Isshu』である。

(中略)

その他、和歌では「烈女 Retsujo」「秀雅 Shuga」「英雄 Eiyu」「武芸 Bugei」「義烈 Giretsu」「畸人 Kijin」「贈答 Zoto」「花街 Kagai」「浄土 Jodo」「和漢 Wakan」「聖賢 Seiken」等、幅広い対象の百首が選ばれ、近代になっても明治以降昭和に至るまで「文壇 Bundan」「愛国 Aikoku」「平和 Heiwa」等の百首が編まれ続けた。」（「百人一首」『和歌文学大辞典』古典ライブラリー〔日本文学Web図書館〕項目担当：寺島恒世）

武家百人一首 *Buke Hyakunin Isshu*

異種百人一首 *Ishu Hyakunin Isshu* の代表作。

作者：経基王 Tsunemoto Oh ~ 源義高 MINAMOTO no Yoshitaka
経基王 = 清和源氏 Seiwa Genji の祖、源経基。六孫王。
源義高 = 足利義澄 ASHIKAGA Yoshizumi。室町幕府将軍。

平安初期10世紀から中世16世紀初頭までの武人

- A 寛文六年(1666)
榊原忠次 SAKAKIBARA Tadatsugu 撰、谷岡七左衛門 TANIOKA Shichizaemon 板
- B 寛文十二年(1672)
榊原忠次 撰、菱川師宣 HISHIKAWA Moronobu 画、東月南周 TOGETSU Nanshu 書、鶴屋喜右衛門 TSURUYA Kiemon 板
- C 刊年不明(江戸末期)
賞月堂 Syogetsudo 著、玉蘭齋 Gyokuransai 画、三都五書肆 (椀屋伊兵衛 WANYA Ihei 他)

和漢百人一首

中本賞月堂主人著
一冊玉蘭齋貞秀畫

武家百人一首

中本賞月堂著
一冊玉蘭齋畫

三都

京寺町通佛光寺角
河内屋藤四郎
大坂心齋橋通博労町
河内屋茂兵衛

書肆

同 通本町角 河内屋藤兵衛
江戸馬喰町二丁目 山口屋藤兵衛
同本石町十軒店角 椀屋伊兵衛

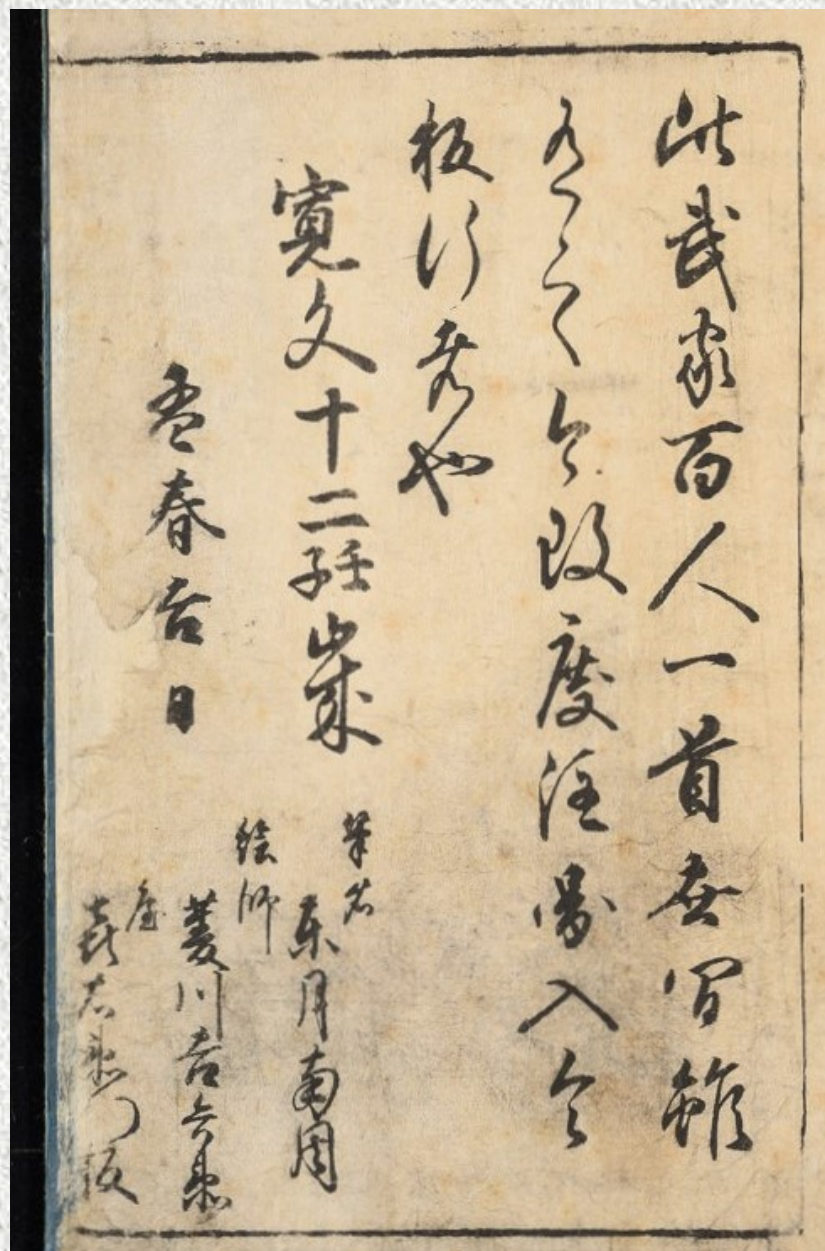
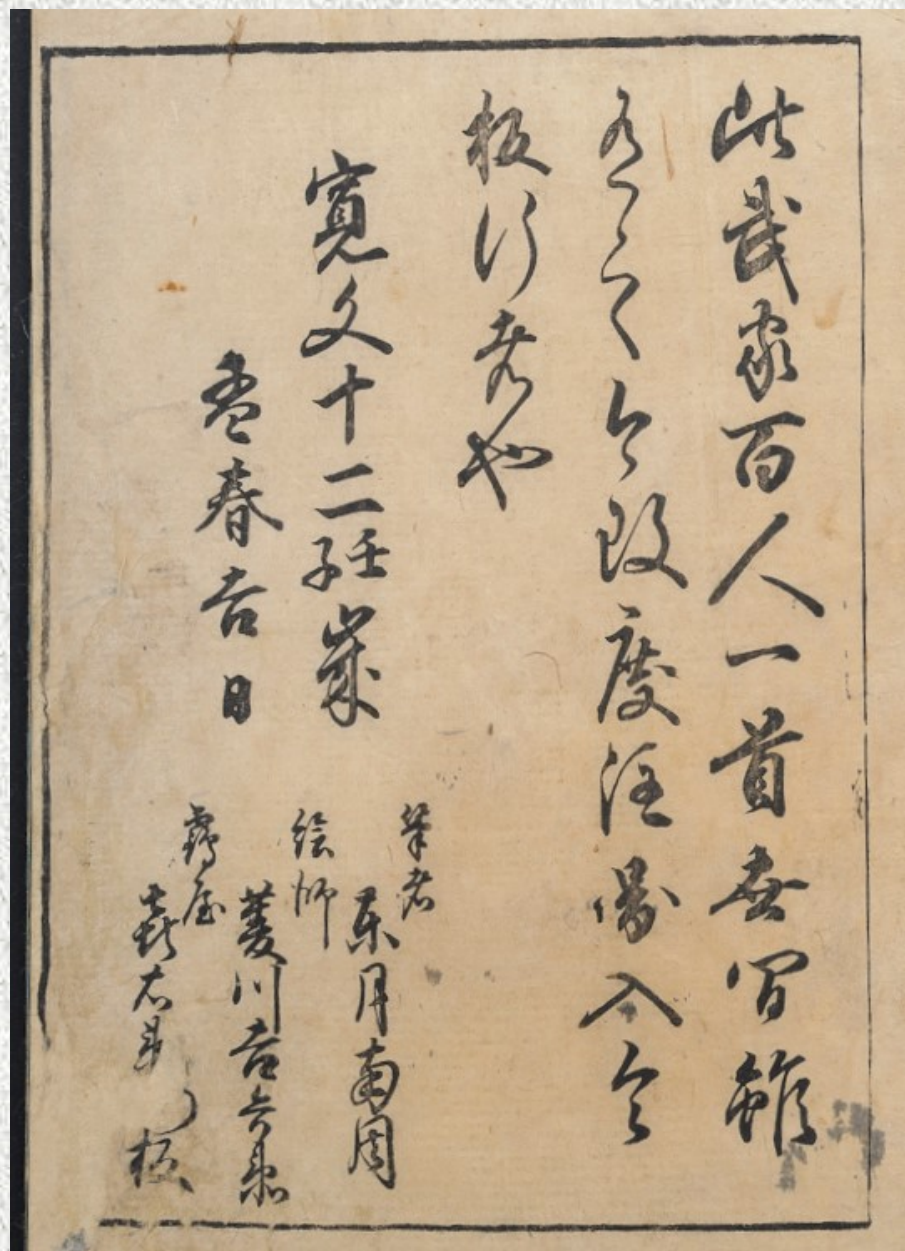
[illegible]

寬文六丙午歲初冬吉辰

下傳其前

谷里七畝板行

武家平一終



A

国文研蔵本 武家百人一首(ナ2-577-1)[RIMG0020]
<https://www.doi.org/10.20730/200020351>



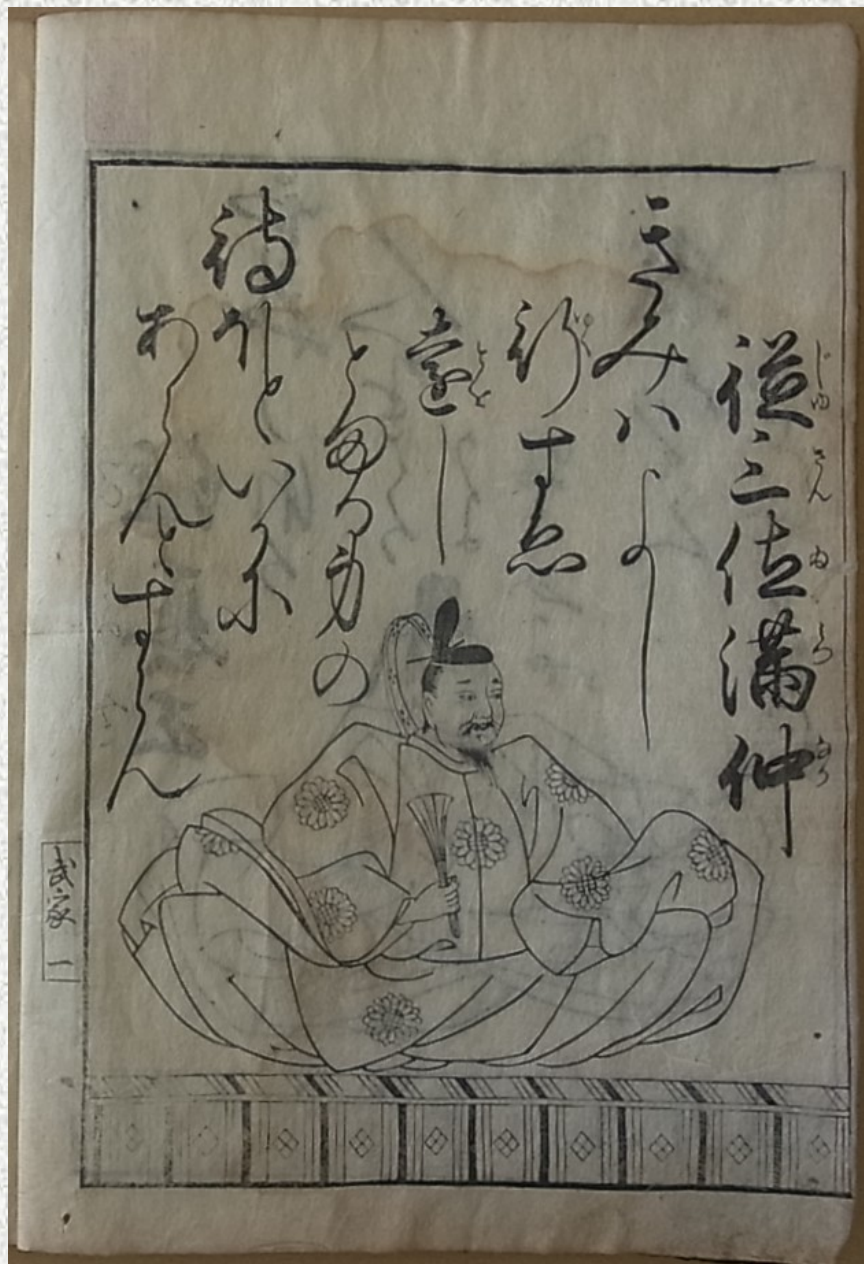
B

ホノルル美術館蔵本 武家百人一首(師宣絵本-38)
 [2006.0386_002]



A

国文研蔵本 武家百人一首(ナ2-577-1)[RIMG0021]
<https://www.doi.org/10.20730/200020351>



B

ホノルル美術館蔵本 武家百人一首(師宣絵本-38)
 [2006.0386_003]



A

国文研蔵本 武家百人一首(ナ2-577-1)[RIMG0021]

<https://www.doi.org/10.20730/200020351>

B

ホノルル美術館蔵本 武家百人一首(師宣絵本-38)

[2006.0386_003]



百人一首像讃抄 *Hyakunin Isshu Zosansho*

「画面の構成自体が斬新」
「やや大がらな歌仙絵」の
「雅致に富む表情」と「そっと
添えられた歌意絵とのバラ
ンスも絶妙」
「歌仙絵＋歌意絵」を〈師宣
様式〉と名付けてみたい。」
(神作研一「歌書の刊・印・修
—『百人一首像讃抄』の場合—」
『詩歌とイメージ—江戸の版本—
一枚摺にみる夢』勉誠出版、20
13年)



大本系統 延宝六年(1678)刊

ホノルル美術館蔵本 百人一首像讃抄(師宣絵本-22)

[TD00152267221]

寛文十二年版の工夫

単一性からの脱却

⇒変化に富む豊かさ・面白さへ

- 「注」を付すこと
- 「図」を入れること
- 姿態の自在、装束の多様さへの志向
- 「左書き」の採用

「以顔面之向書者為行」

⇒顔の向きによって行移りの方向が決まる

(森尹祥MORI Masayoshi[1740-1798]『世尊寺家三十六人歌合 行之形 散様 *Sesonjike Sanjurokunin Uta-awase gyo-no-katachi Chirashiyo*』)

A

国文研蔵本 武家百人一首(ナ2-577-1) 左から[RIMG0022][RIMG0023][RIMG0023][RIMG0024]

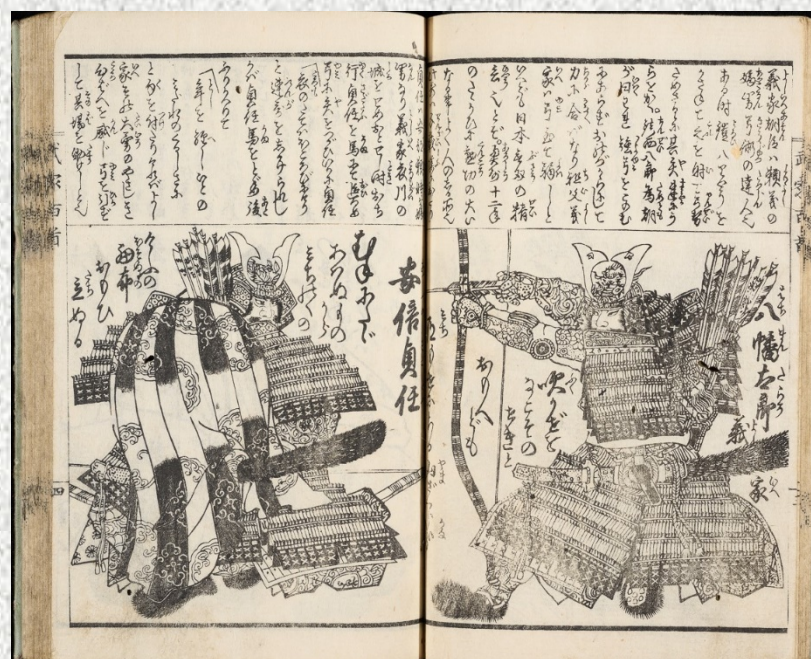
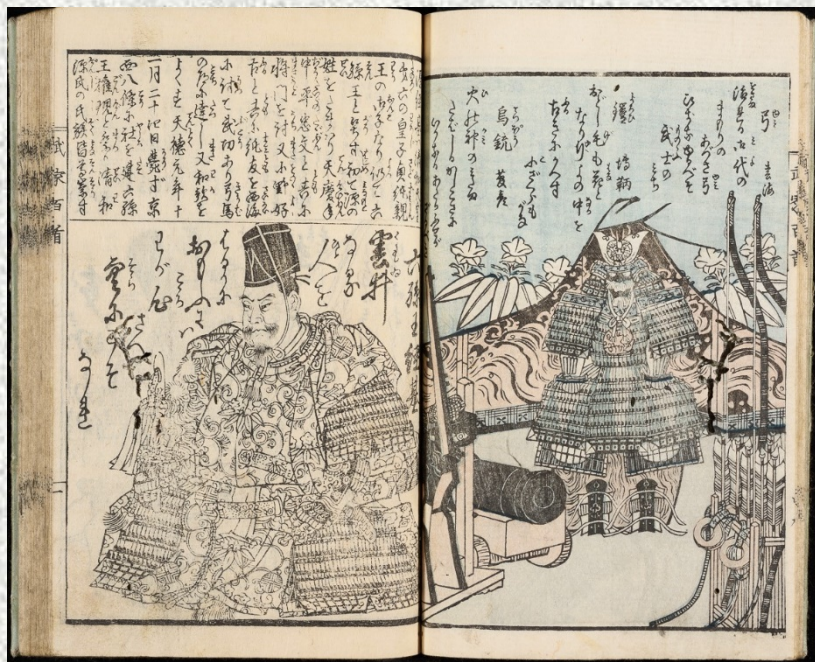
<https://www.doi.org/10.20730/200020351>

B

ホノルル美術館蔵本 武家百人一首(師宣絵本-38) 左から[2006.0386_004][2006.0386_006][2006.0386_005][2006.0386_019]







ご清聴ありがとうございました

Thank you for your attention.